

キリスト教社会福祉学研究

49号

Christian Social Welfare Science

2016

CSWWS

巻頭言	平和について考える		野村 武夫
正副会長声明	今日における平和の大切さを考える	市川 一宏・岸川 洋治・山本 誠	
論文	平和とキリスト教と社会福祉 — そのラディカルな使命 —	マーサ	メンセンディーク
講演	真の平和の意味とキリスト教社会福祉従事者の使命		ダニエル リー
投稿論文	19世紀ドイツ都市における公的救貧事業の理念と実践 — 市民的自由主義とキリスト教慈善事業の間で —		平松 英人
研究ノート	賀川豊彦の「子どもの権利」観の形成過程に関する考察 — 1910年代から1920年代までの論稿から —		李 善 惠
第57回大会特集	開会礼拝 奨励 「小さな平和と大きな平和について」		水野 隆一
	記念講演 「救貧看護とフィランスロピア」		土井 健 司
	シンポジウム		
	「私たちにとって平和とは何か — キリスト教社会福祉の使命 —」		
	発題要旨1 「本当の平和とは何か? — 児童虐待の現場から —」		延原 正海
	発題要旨2 『『自死と孤立』の取組みから — 一人ひとりが大切にされる社会に向けて —」		喜代永 文子
	発題要旨3 「私たちにとって平和とは何か — キリスト教社会福祉の使命 —」		川上 直哉
	パネルディスカッション		
	「キリスト者と社会」		
	発題要旨1 「宣教とディアコニア」		中道 基夫
	発題要旨2 「キリスト者と社会 — 山室軍平と岩橋武夫を中心に —」		室田 保夫
	発題要旨3 「賀川豊彦と社会運動」		西 中 義人
	発題要旨4 「無教会派・矢内原忠雄を導きにして」		阿 部 和男
インタビュー	福祉の歩みを語る (2)		阿 部 志 郎
書 評	I 八木橋康弘 著 『備中高梁におけるキリスト教会の成立 — 新島襄の伝道と新しい思想の受容 —』		室田 保夫
	II 津曲裕次 著 『鳩が飛び立つ日 「石井筆子」読本』		三原 博 光